

ときめ**輝**びと

おはなしおばさん、 今日もゆく

宮腰 悦子さん (三ツ矢元町)
すずめの学校 代表



撮影場所: 宮腰さん宅

アートインナガハマで賑わう中心市街地の中でも、ひととき人気を集めるのが「人形劇まつり」。安浄寺の本堂を舞台に繰り広げられる人形劇や紙芝居に、子どもたちはもちろん、大人もすっかり夢中になります。

今年で9回を重ねたこの催しを開くのは、児童文化活動グループ「すずめの学校」。その代表を務めるのが宮腰悦子さんです。宮腰さんは神戸に生まれ、第二次大戦中に信楽に疎開。結婚後は夫の仕事の関係で神戸、東京、神奈川、千葉、ヒューストン、ニューヨークと国内外を転々としたのち、2003年、長浜に居を構えました。

宮腰さんがおはなし会や紙芝居、人形劇などの児童文化活動を始めたのは40年前。千葉県在住時、地域にお年寄りがいない、夫の帰りが遅い…そんな環境での子育てに危機感を覚えての

ことでした。それ以来、フィールドが変わっても、言語が変わっても持ち前のバイタリティを發揮し、地域の子どもたちにおはなしを届け続け、25年前には人形劇のプロデュースなどを行う(株)エツコ・ワールドも立ち上げました。

パワフルな「おはなしおばさん」としての宮腰さんの原点は、幼いころの身近な大人たちとの関わりにあるそう。「私の母親は小学校の教師として忙しく働いていましたから、子どもの相手ができなかったんです。でも地域のお年寄りが紙芝居なんかをしてくれて。その頃は皆が貧しかったけれど、おはなしを聞くことで空腹が紛らわされるの。おはなしが栄養になり、体にしみ込んでいったのね」

「子どもにとって大切なのは『自分を知っても

らっている』という実感。そのためには大人がたっぷりと声をかけ、目をかけ、手をかける必要があるんです。親はもちろんですが、地域のおじさん、おばさんがその役割を引き受ける、そんな町がいいですね」

「地域全体での子育て」の一端を担う「すずめの学校」の活動の柱は、「つなげる・つたえる・つづける」の3つの「つ」。人と人、世代と世代をつなぎ、地域の歴史や文化を伝える活動を続けていくこと。最近はおもう一つ、「つくる」を加え、童話などの創作活動にも取り組んでいるそうです。

「やることすべてが楽しくて、どんどん元気になっちゃう」そう話す宮腰さんの顔はとってもチャームングでまぶしいくらいに輝いていました。

Smile Smile

※このコーナーでは、市内在住のお子さんたちの写真を掲載します。笑顔と元気あふれるお子さんたちの写真を募集しています。掲載を希望する人は市民広報室(☎65-6504)まで申込みください。



一歳お誕生日おめでとう。よく食べ、よく寝て、よく笑い、時々やんちゃな湧介が家族みんな大好きです。

小川 湧介ちゃん (平成24年10月生まれ) (七条町)



藤村 颯大ちゃん (平成24年9月生まれ) (八幡東町)

いつも元気な颯ちゃん♡よく食べ、よく遊んで、よく寝て大きくなってね！小さなお兄ちゃん。弟とも仲良くしてね♡

まの人口	平成25年10月1日現在	人口 123,071人	男 60,214人	女 62,857人	世帯数 44,407世帯
	平成25年9月中の異動	転入 204人	転出 225人	出生 111人	死亡 106人 婚姻 49件

平成25年11月1日発行/編集・発行 長浜市市民広報室
〒526-8501 滋賀県長浜市高田町12-34 TEL:077-49-62-4111 FAX:077-49-63-4111
http://www.city.nagahama.shiga.jp e-mail: kouhou@city.nagahama.lg.jp



この印刷物は、有害な廃液を排出しない水なし印刷を採用しています。また、大豆油インキを包含した植物油インキと環境に配慮した再生紙を使用しています。

「広報ながはま」は、各自治会を通じてお届けすることを原則としていますが、市民交流センターや図書館、公民館など市の公共施設にも置いています。市のホームページでもご覧いただけます。点字広報、声の広報を作成していますので、ご希望の方は市民広報室まで。